爲永春水作

梅蝶樓國貞画

色表紙曾我物語

第弐編之上

へ13
3860
1

爲永春水作
柳亭樹彦画
初編上
初編下

門へ13
3860
巻 1

曽我物語といふる策子いにしへの世ふ。いつまの仁ふ作りけんのまごそのの實正なるを見ゞ。或いふ天台宗の僧。室町の代ふ作りしと。這い拠ある説なりとれを。室町の代ととるとゝ。今安政四稔まで。大約四百年ゆるを保暦間記巻の下十三丁ふ助成時宗が名をさへ出して。曽我物語云々となり。保暦間記い。暦應の比の著述なれば夫よりも猶仮前ふ。這物語いにしへきゝ〜のの説暦應より今稔まで。五百七八年なれば室町といふ説よりも。なほ百年も以前とも思ふ。左ゆる右ゆる最舊き物語にくゝわりゆるを僕ども。ゞ筆頭ふかけん鳥斯ある所為ふ似れども婦幼のゝために。世様を換へ言葉の花ふ色を添へて。例の今巻ふ綴りそよと書肆が需ふ。ゝ〜。枝葉をそふ加へ故を温て可惜しき冊子に混ぜるとも。

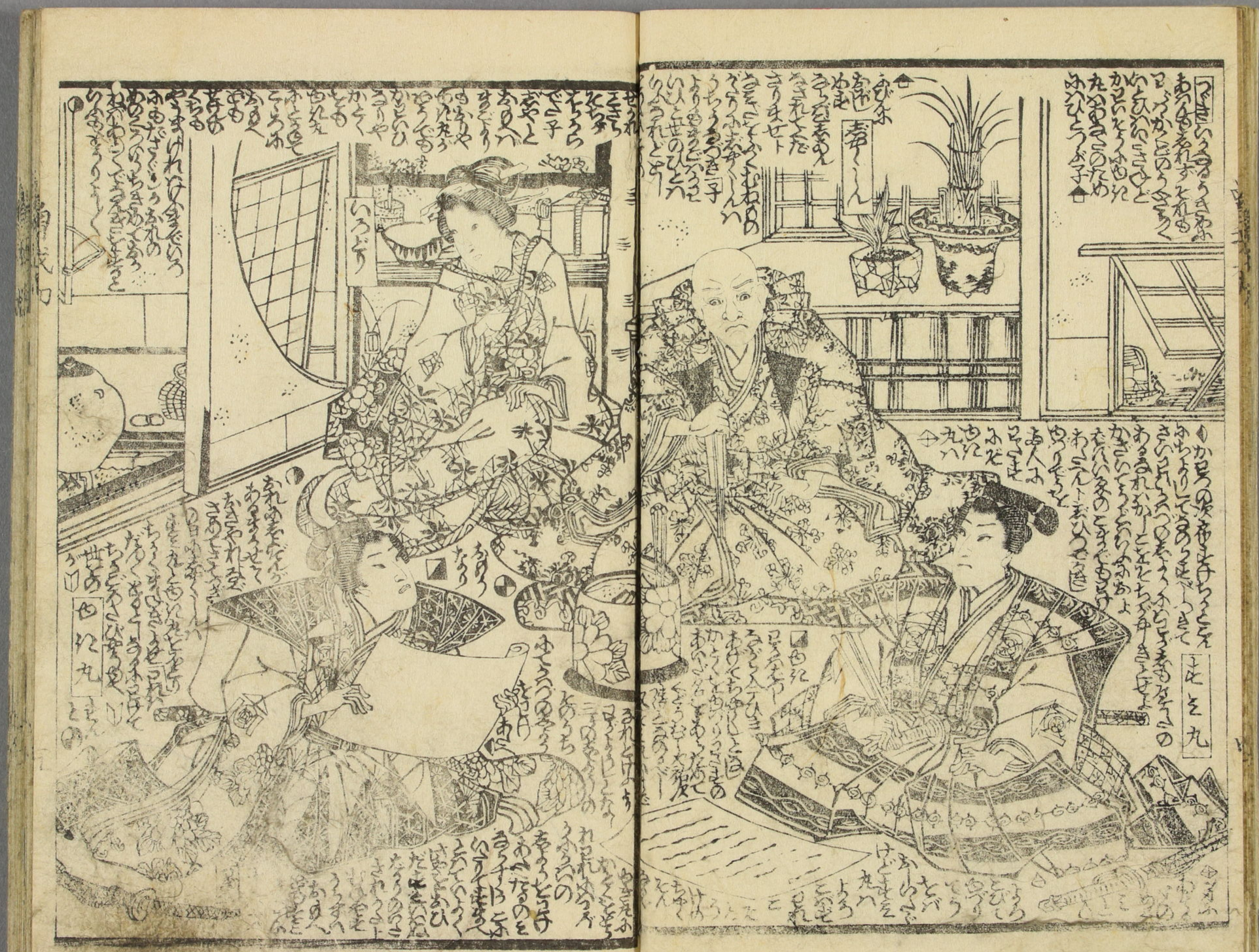
爲永春水記

曽我物

寂心が後妻
色鳥
聖丸
後ふ工藤武者祐次
墨丸
後ふ伊東次郎祐親

金石丸
後ふ工藤一郎祐經
祐親の女兒
黄江ろ
伊東九郎祐清
河津
二郎
祐茂
赤沢
九内

いろどり
くどう
あのと



とらの山
一の巻
上
きけちう

佛不語

だつたう

をけちう

とーのと
左人
うるへー九

とーえ
次人

國貞画 春水錄

安政七庚申年新板目録

名長紙曽我物語　初　為永春水作　二　梅蝶樓國貞画

佐崎なまの宮本名郷音武術譽　初　楽亭西馬作　二　三同　画

三世相錦繍文章　初　柳水亭雅清作　二　城　昔川國郷画

蝶衛裙野皇子雨丹　初　柳煙亭種久作　二　初　一恵齋芳義画

金花七變化　初　鶴亭秀賀作　二　三　梅蝶樓國貞画

神仙調合所　一角丸

毒つけ毒けし　小見ゑん諸病どく

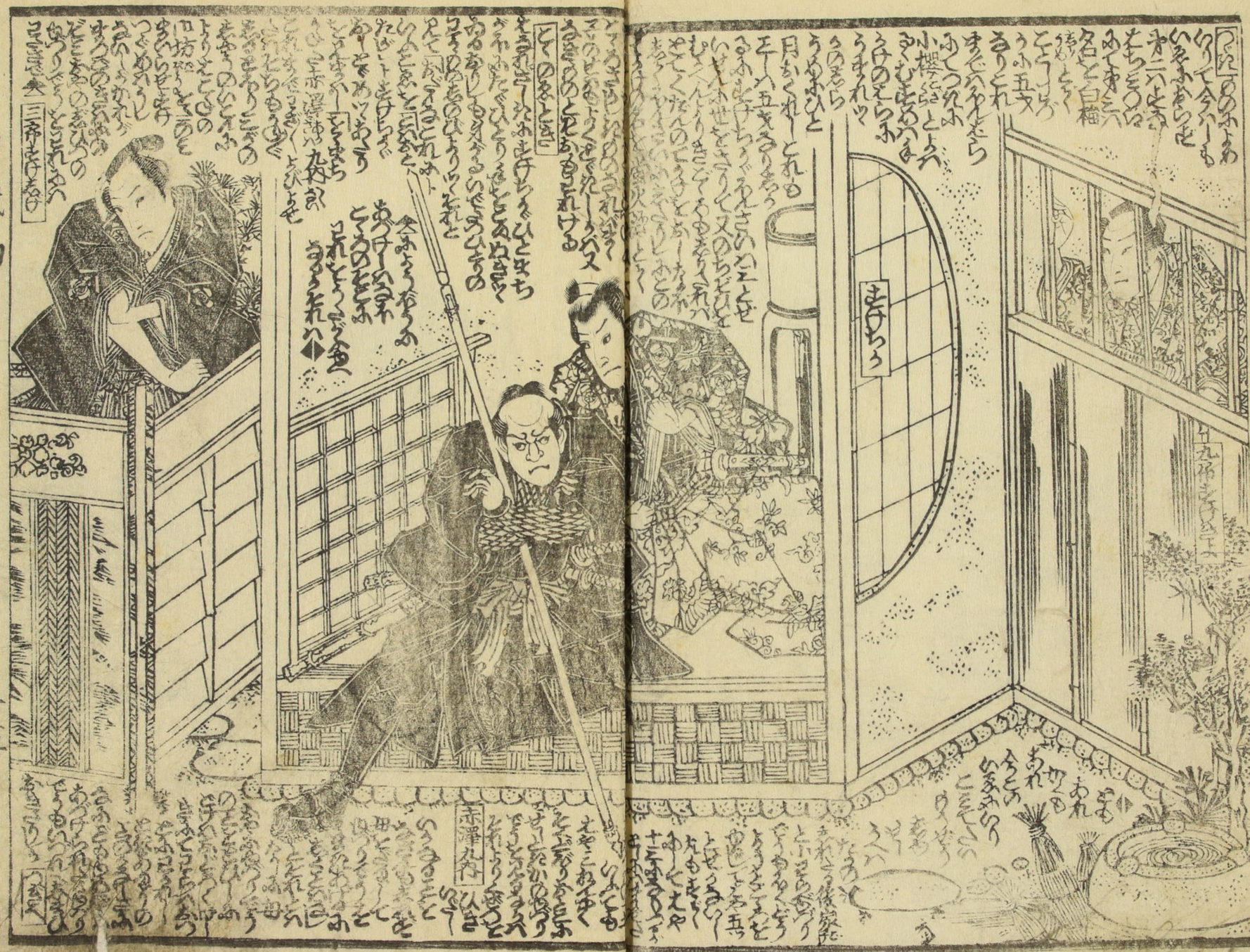
江戸人形町通り　販島啓三郎謹製

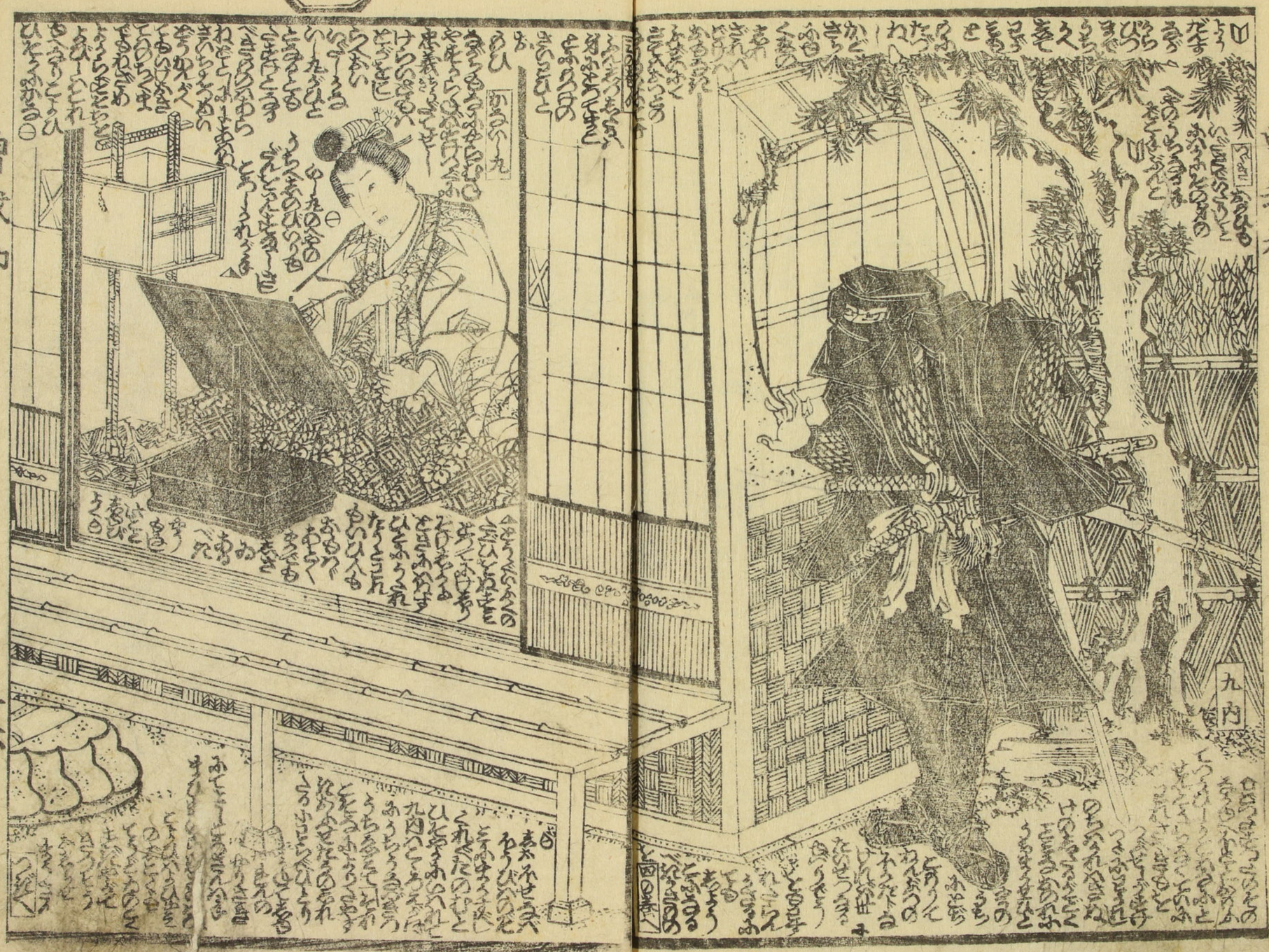
武田膏　大貫百文　小貫二十銅　中貫四十八銅

地本　江戸両國横山町三丁目　問屋　辻岡屋文助

仲彫　白　金松堂

つぎは十五ふ
ぎょうれつ
ちゃうちん
こーえ
そつえ
ちゃうちん
ちゃうちん
ちゃうちん


まけちろう
赤澤九内


九内

三帝

九帝
九内

九郎

三郎

かないし
九母

とつに
きつくわ
きう太

安政七庚申年春新板目録

柳幕魁双紙　初　為永瓢長作
八　一壽齊國貞画

都鳥汀松若　初　柳水亭種清作
二　三　同　画

初紅葉小倉色紙　初　同　作
五　同　画

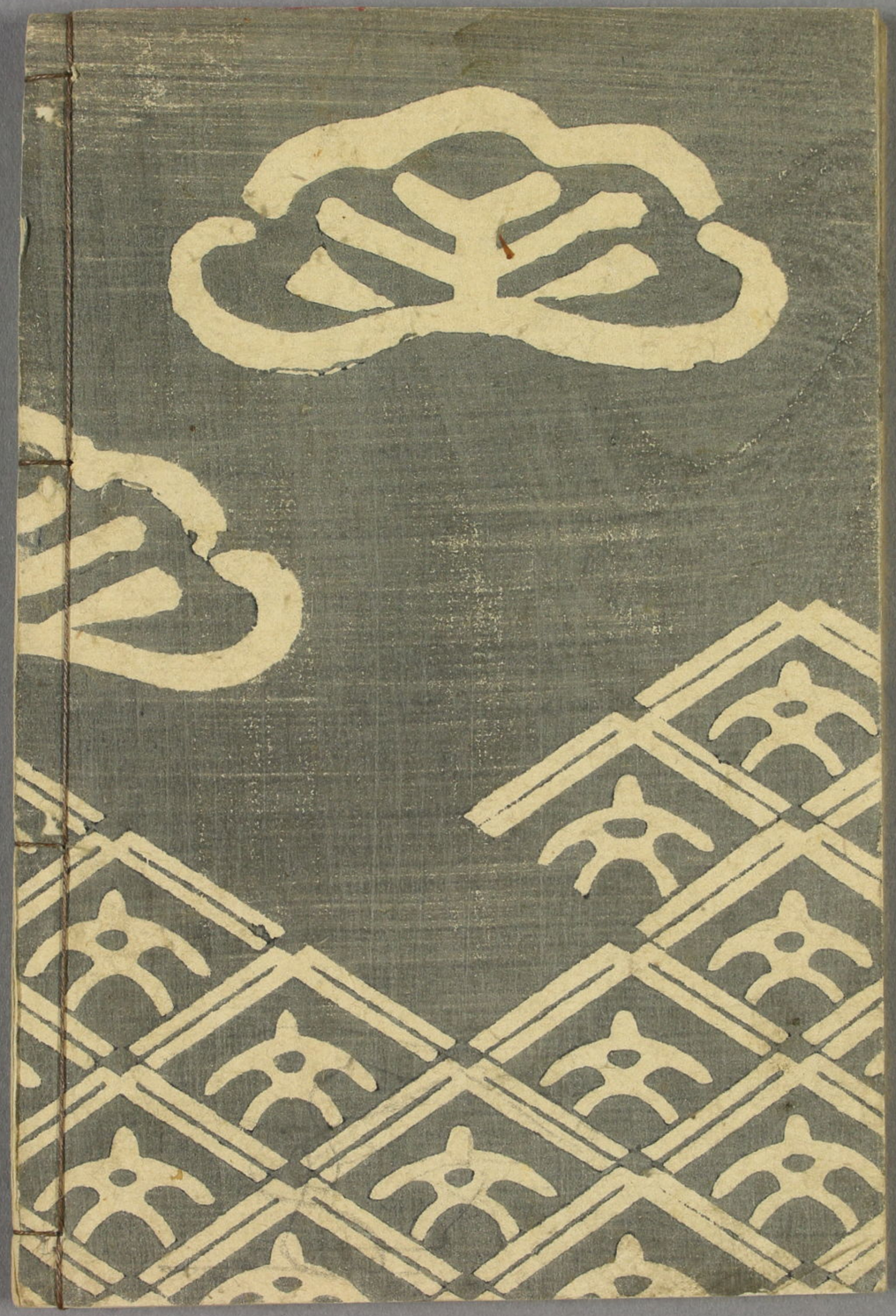
蝶衝亀山染　初　同　作
二　三　同　画

義経千本櫻　初　同　作
二　三　同　画

釜淵水升石川　初　花笠文京作
二　三　一勇齊國芳画

縁綱詞花咲丹　二　半文字英壽作
三　一松齊芳宗画

當利生一網丹　二　為永瓢長作
切　歌川國盛画

濡衣女鳴神　二　瓢長改
三　為永千章作
板出　一壽齊國貞画

地本紙問屋　江戸両國横山町三丁目　辻岡屋文助
金松堂